

フィールド
レポーターだより!!



2010年度 第2回調査

「お正月遊び」調査結果報告

今回のフィールドレポーター調査は、誰にとっても馴染みのある「お正月遊び」に関する調査でした。今回の調査は、特別に参加しやすかったのではないのでしょうか。また、身近な調査テーマだけに、自分の経験や興味に引きつけて報告文を読むことができるのではないのでしょうか。

今回の調査では、家庭で行うお正月遊びを、「今年どんな遊びをしたか」「調査者の子供時代はどんな遊びをしたか」ということを調べた上で、今と昔のお正月遊びについて比較を行いました。加えて、「次の世代に残したい遊び」についても調査しました。調査結果の詳細は、フィールドレポーター・スタッフの皆さんが、イラストや写真、グラフなどを使い、分かりやすく説明してくださいましたので、報告文を読んでいただければと思います

ここでは、私が個人的に興味をもった調査結果をご紹介します。

まず、「カロム」についての報告は、私自身、滋賀県立大学の学生を11年間していましたので興味もって読みました。彦根市の家庭では、一般的なお正月遊びである「カロム」は彦根市、長浜市、東近江市、守山市でも使われているという報告でした。「カロム」は、欧米、中東、アジアと広く行われている伝統的な遊びです。彦根市以外でも、遊ばれていることを今回知ることができたことは、驚きでした。

次に、次世代に残したい「お正月遊び」の中には、「たこあげ」、「百人一首」、「かるた」、「お手玉」が上がっていました。その中で、「百人一首」は、今年の遊びでも、20歳以下で良く遊ばれている遊びに上がっていました。また、「お正月遊び」の自由記入欄には、「百人一首は、七十代の今も、良く覚えている歌があり、日本の自然やわび、さび、昔の人の情熱などが思い起こされる」というコメントもありました。

「百人一首」は、何百年も歌い継がれてきた日本の伝統文化ですが、それが、今も、家庭でのお正月遊びを通じて、歌い継がれているというのは、多くの伝統文化が今も残る滋賀県らしく、大変興味深く感じました。

最後に、調査結果のとりまとめと報告文の作成は、労力のいるものだったと察します。フィールドレポーター・スタッフの皆さんに心からお礼申し上げます。

老 文子(琵琶湖博物館 学芸員)

「お正月遊び」調査報告

フィールドレポーター 多胡 好武

お正月には凧あげて こまを回して 遊びましょう～ お正月を代表する唱歌ですが、近頃ではこのような風景がほとんど見られなくなってきたのでは……

そんな声が聞かれます。そこで今回“お正月遊び”をとおして、今年のお正月はどのように過ごされたか、また調査者の子どもの頃はどんな遊びをしましたか、そして次の世代に残していきたい遊びについてアンケート調査を行いました。

私の子どもの頃(昭和30年代)はテレビも次第に普及してきましたが、やはり遊びは近所の友だちや親戚の子どもで、「小学 年生」などの月刊子ども雑誌に、かるた、すごろくなど年代に応じた付録が付いており、トランプなどと一緒に遊んだ記憶があります。屋外ではこま回し、田んぼで凧揚げ、女子は羽根つき、お手玉などで遊んでいました。映画館も正月向けシリーズ映画で満員の盛況だったと記憶しています。

私の子どもたち(第2期ベビーブーム)の時代になるとスーパーマリオなど電子ゲームの幕開けでしょうか。オセロや家族でできるマーじゃんゲームなども普及していたと思います。しかし近年はテレビや電子ゲームの影響が強く、外で遊ぶ子どもたちの姿は徐々に少なくなってきたように思います。

昔にくらべて核家族、少子化の進んだ現在、地域社会とのつながりも大幅に少なくなっているようですが、今回のアンケート調査「次の世代に残したい遊び」では各年代層とも伝統の正月遊びの数々をあげておられました。

1. 調査者参加者プロフィール

今回の調査にはフィールドレポーター以外にも数多くの方に参加していただきました。県内130件、県外2件の調査票が送られてきました。内県内130件の調査票の地区別参加者数を図-1に示します。

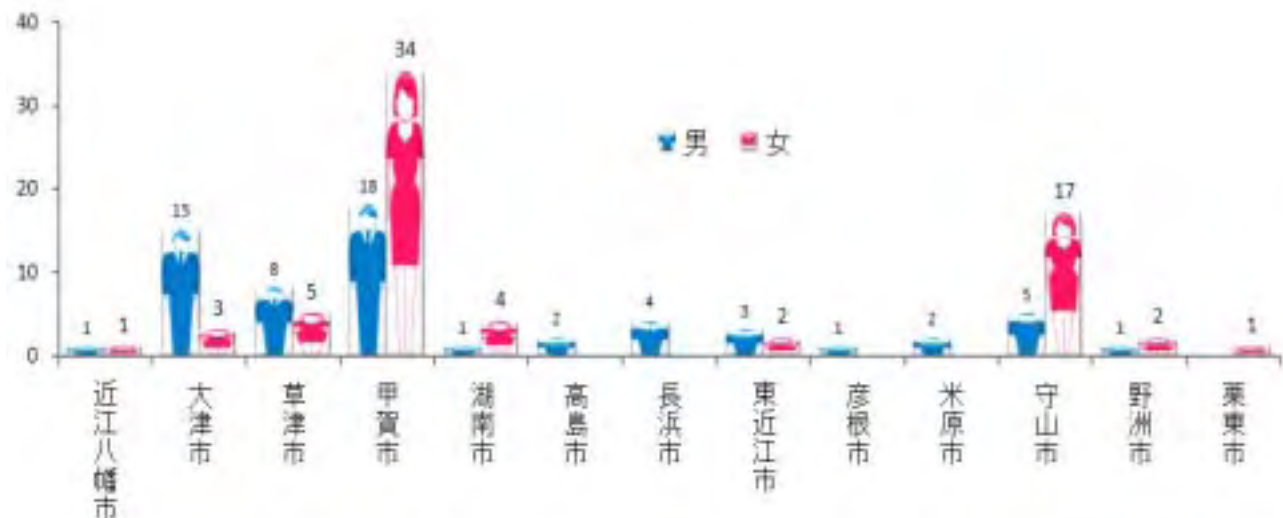


図-1 地域別参加者数

甲賀市では70歳以上の方45名がアンケートに協力いただき、子どもの頃の遊びに深い思い入れを感じました。



図-2 年齢別・男女アンケート参加者数

また今年の正月は、異常寒波で県下一帯にも降雪がみられ、雪だるま、雪合戦、そり遊びなどで遊ばれた方も多く見受けました。

以下「お正月遊び」のアンケートを考察してみます。

なお、各地域別あるいは年代別の回答数に大きな差が認められますので(図-1、-2)、それぞれの回答数合計に対する比率(%)で考察することにしました。

2. お正月はどんな遊びをしましたか

年齢別に今年の正月遊び並びに子どもの頃の遊びについて考察してみました。次の表-1に年齢別の合計を一覧表としました。

表-1.年齢別「今年の正月遊び」一覧表

年齢区分	参加人数	性別		正月遊び																								
		男	女	こま回し	たこあげ	まりつき	すごろく	福笑い	百人一首	かるた	トランプ	花札	ビー玉	おはじき	お手玉	めんこ	カロム	ベーゴマ	スキー・ボード	カラオケ	ボーリング	麻雀	囲碁・将棋	テレビ鑑賞	電子ゲーム	板ゲーム	旅行	はねつき
20以下	14	12	2	2					5	5	3				2				1	1	3		2	11	13	1	1	
20,30代	9	4	5	3	1					1	2	1			1					1				5	2		1	
40代	12	6	6	1	1		1	1		4	6				1				1	1	1			9	6	2	1	
50代	12	4	8	1	2		1	1	2	3	3	2									1		1	10	2		1	
60代	22	9	13	4	2	2	4	2	7	5	12	4			2				4	5	2	2	3	17	9	2	9	2
70以上	61	26	35	11	5	3	9	1	12	15	19	3		1	6			1	1	2	11	4	10	40	19	1	11	4
計	130	61	69	22	11	5	15	5	26	33	45	10	0	2	11	0	1	1	8	19	11	2	16	92	51	6	24	6

その他の遊びは全部を紹介できませんので、改めて年齢別に紹介します。

20歳以下…そり遊び、雪合戦

20,30歳代…DVD鑑賞

40歳代…バードウォッチング、おりがみ等、雪遊び、ラジコン、福袋ショッピング

50歳代…ジョギング、映画、雪遊び、バードウォッチング

60歳代…チェス、あやとり、オセロ、ラジコン、雪遊び

70歳以上…そり、雪遊び、ヨーヨー、ケンダマ、だるま落とし、ビンゴゲーム、ほびき

続いて子どもの頃遊んだ記憶をたどっていただきました。

表-2 子どもの頃の「正月遊び」

年齢区分	参加人数	性別		こま回し	たこあげ	まりつき	すごろく	福笑い	百人一首	かるた	トランプ	花札	ビー玉	おはじき	お手玉	めんこ	カロム	ベーゴマ	スキー・ボード	カラオケ	ボーリング	麻雀	囲碁・将棋	テレビ鑑賞	電子ゲーム	板ゲーム	旅行	はねつき	
		男	女																										
20以下	14	12	2	現在未成年の子どもでありデータなし																									
20,30代	9	4	5	8	9	1	5	4	7	5	8	2	1	1	3	2				1	3	1	2	5	2	4	1	4	
40代	12	6	6	8	12	3	10	7	9	11	9	6	7	5	4	5		1	1		4	1	4	8	3	3	3	6	
50代	12	4	8	8	10	9	10	8	6	10	10	8	8	5	5	6	1	1	1		3		3	4		3	2	8	
60代	22	9	13	20	19	14	22	19	16	19	19	13	15	15	15	13	4	1	3	2	3	1	8	6	1	3	2	14	
70以上	61	26	35	28	34	28	40	18	37	54	47	26	14	30	29	22	2	5	4	7	6	1	12	11		1	12	34	
計	130	61	69	72	84	55	87	56	75	99	93	55	45	56	56	48	7	8	9	10	19	4	29	34	6	14	20	66	

子どもの頃の「正月遊び」は多岐にわたります。テレビ鑑賞や電子ゲームは「今年の遊び」に比べ極端に少ないのは時代背景をみてもうなずけるものがあります。

滋賀県東部で盛んな遊び、「カロム」は彦根市、長浜市、東近江市、守山市の方から遊んだとの記載がありました。

多彩な遊びは、かるた、トランプ、すごろく、たこあげ、百人一首、こま回し等と伝統の遊びが多く、一家団らんの笑顔が見えてくるようです。

「その他」の遊びについても紹介します。

20,30歳代…UNO, あやとり、オセロ、バトミントン、

40歳代…書初め、おにごっこ、

50歳代…竹馬、缶けり、スケート、雪遊び

60歳代…だるまさんがころんだ、肉弾、紙風船、ゴムとび、竹馬、缶ボックリ、雪遊び

70歳代…自作のスキー、竹馬、釘とばし、釘刺し、そり遊び、雪遊び、胴馬

呼び名が違って、同じような遊びは他地区でも見受けられると思います。

年代別参加者のバラツキから下記比率でも考察してみました。

今年の遊び

子どもの頃の遊び

■20歳以下 ■30歳代 ■40歳代 ■50歳代 ■60歳代 ■70歳以上

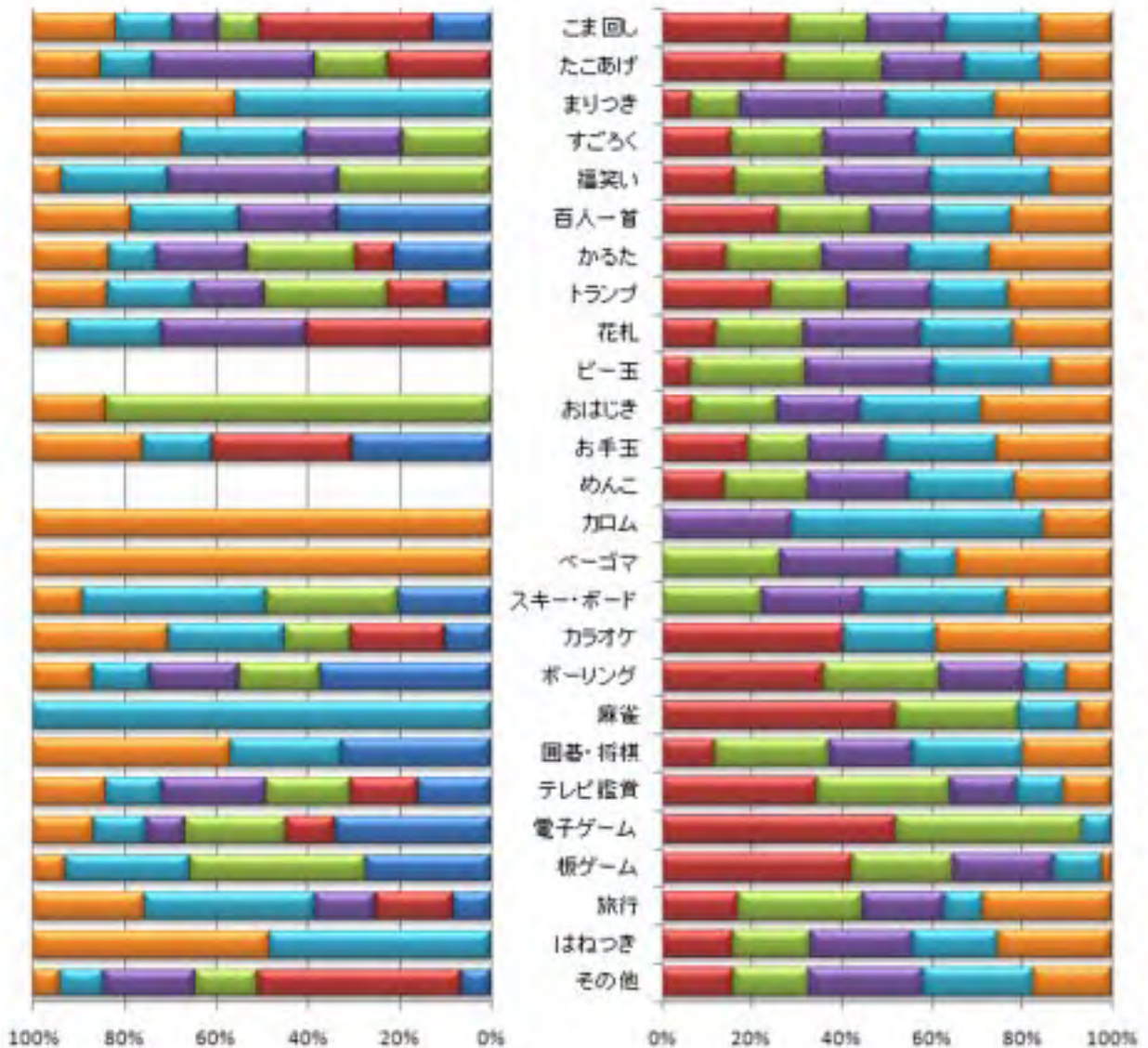


図-3 遊びの種類

図-3のグラフで見比べてみますと20,30歳代の若い世代とそれ以降の世代のグラフが異なる比率を示しているように思います。すなわち若い世代では、その他に仕分けしたテレビ鑑賞、電子ゲーム、板ゲームや伝統的な遊びのトランプ、百人一首、たこあげ、こま回しなど学校の授業で教わったり、作ったりすることや、家に遊び道具のあるものの比率が高く、それ以外の昔からのこども遊びというものは、少なくなっているように感じました。全体的にも「正月遊び」のデータ(図4.今年の正月遊び)をみますと、かるた、トランプ、百人一首は比較的馴染み深く、家に遊び道具のある方が多いようですが、まりつき、福笑い、ビー玉、おはじき、めんこなどは遊びたくてもその遊び道具がないためか、これらの遊びは非常に少なくなっています。

残念なことです。幼い頃から一家団らんの遊びや、近所の友達と遊ぶ機会が少ない最近の傾向は、遊びを通じて育まれる社会のルール、生活の知恵が学習できず、昔の人情味あふれる社会生活を引き継いでいく事が難しくなっていくように思います。

図-3の各年齢別遊び調査と皆さんのお正月を比べ、違いはありましたか？

3. 誰が遊びをしましたか

年齢、家族構成(子ども中心、孫中心など)により過ごし方は様々だと思われませんが、若者はテレビや電子ゲーム、30、40歳代は子どもとの時間が増え、60歳代以上になると孫との関わりが増えて、孫に昔の遊びを教えながら楽しく遊んだ紹介が多くみられました。

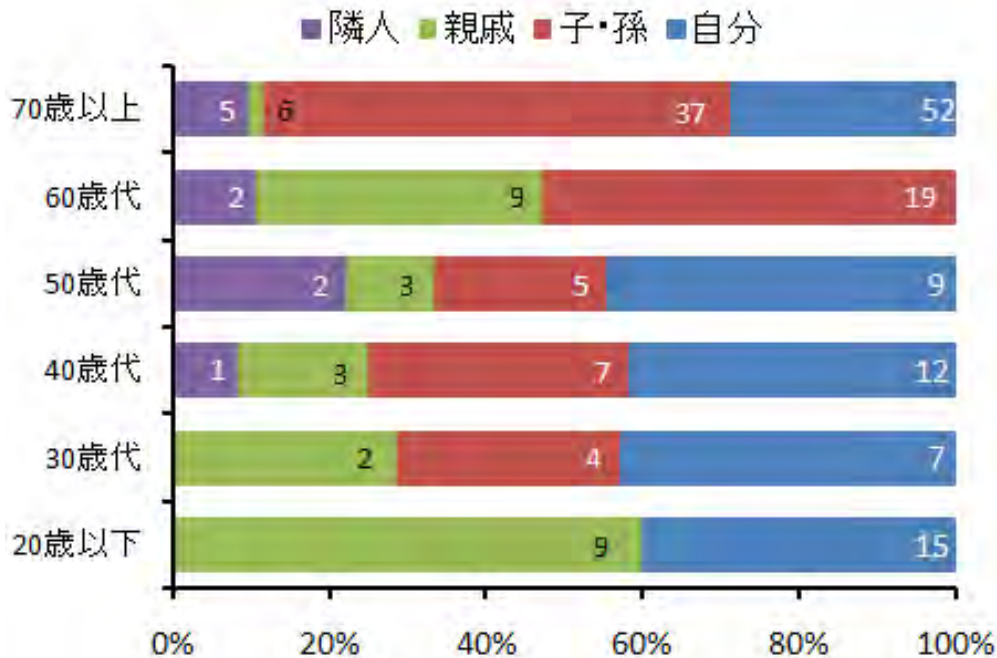


図-4 誰が遊びましたか
(グラフ中の数字は回答数を示す)

4. 次の世代に残したい遊びベストスリー

では各世代の方々には次の世代にどんな遊びを残したいとおられるのでしょうか。残したい遊びのトータルでは図-5のとおりとなっています。

年齢別に「残したい遊び」を区分けしますと、下表(表-3)となります。

表-3. 年齢別「次の世代に残したい遊び」ベストスリー

残 べ す た い 遊 び	こ ま 回 し	た こ あ げ	ま り つ き	す ご ろ く	福 笑 い	百 人 一 首	か る た	ト ラ ン プ	花 札	ビ ー 玉	お は じ き	お 手 玉	めん こ	カ ロ ム	カ ラ オ ケ	ポ ー リ ン グ	麻 雀	囲 碁 ・ 将 棋	テ レ ビ 鑑 賞	電 子 ゲ ー ム	板 ゲ ー ム	旅 行	は ね つ き	そ の 他
20以下	1	4		4		3	3	2	2					1	2	2		5	8	1	1	1		
20.30代	3	5		3	1	2	2	4	1			1					1						1	
40代	3	9	1		3	5	4	1			1	1	1					1				1		
50代	2	6	2	2	2	2	4	1						1					1		1	1	2	3
60台	8	9	3	8	3	9	8	2		1	1	5											3	3
70以上	10	23	2	3	2	19	21	10	1			11		1	1	2		4				2	5	
合計	27	56	8	20	11	40	42	20	4	1	2	17	2	1	3	5	2	6	6	8	2	5	12	6

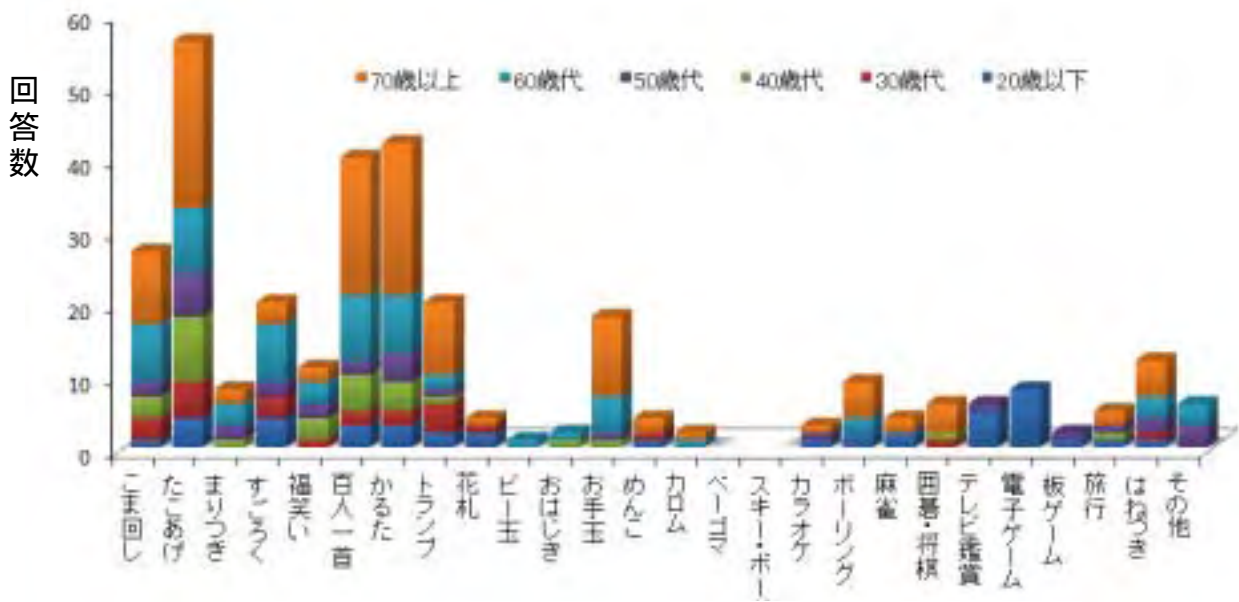


図-5 各年代の「次の世代に残したい遊び」ベスト3

(その他は：花札、ビー玉、おはじき、めんこ、カロム、ベーゴマ、スキー・ボード、カラオケ、ボーリング、麻雀、囲碁・将棋、テレビ鑑賞、板ゲーム、旅行の合計となっています。)

昭和 30 年代 元旦の凧揚げ



(写真提供 彦根市 大橋 洋氏)

「次の世代に残したい遊び」を年齢別にその比率で考察しますと全般的に「正月を楽しく過ごす伝統的な遊びを残して行きたい。」という思いが伝わるような遊びが選ばれていますが、年齢によりその思いには多少ずれがあるようです。

20歳以下では電子ゲームやその他欄のテレビ鑑賞など遊びが多岐にわたっていますが、それ以降の世代ではテレビや電子ゲームは無くなり、こま回しや凧揚げなどが増えてきます。

次の世代に残したい「お正月遊び」、それは文化の伝承、家族の絆を深めるため、はたまた幼い頃のノスタルジー…

今は元旦から大型スーパーの初売りがあります。お年玉で好きなものを買に行くのもお正月の楽しさの一つ。

私の子どもの頃は、正月も2~3日しないと店が開かず、それまでは火鉢で暖をとりながら何か楽しい遊びはないかな…と

昭和 32.33 年家族で百人一首



(写真提供 彦根市 大橋 洋氏)

家族、親戚が一堂に集まり祝うのは正月ならではの事、トランプやかるた遊びなどの「正月遊び」はそんな時代の遊びが伝承されてきたものでしょう。調査表の20歳以下ではその残したい遊びのトップは電子ゲーム、彼らが高齢になった頃の「正月遊び」とは？

時代の変遷は年々早くなっているように感じますが皆様はどのように見ておられるのでしょうか？

今回お正月の遊びについて自由に書いてくださいとの欄に多数の方々が、お正月の思いを書いてくださいました。全てを紹介したいのですが、紙面の関係もあり、その一部を原文のまま紹介いたします。

5.お正月の遊びについて、感じる事など自由に書いてください。



5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

子供は、一軒に5~6人の子供がい
い子家も多く、誰れかが、どこかで、遊び
方を覚えてきて、皆に教えてくれた。
花札のデザインは日本の四季がよく
描かれていると思つた。百人一首は、
七十代の今もよく覚えている歌があり、
日本の自然やわがさび、昔の人の情熱
などが、思い起こされる。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

私達の世代は昭和20年代に小学生でした。トに角倉しく正月だから正月の遊びを
するといふのではなく、年の回りにある材料を使って正月でも普段の遊びをしていました。
正月でもムクロジの実、五寸釘、ビー玉等で遊んでいたように思います。
かるた・ランプは駄菓子や雑誌のフロフ、コマ・ビー玉は僅かのお年玉で駄菓子屋で買ひ
百人一首は戦前から家にあったので坊主や女匠の札を合せていました。
小学生の子供たちが今やDSで一人ずつ遊んでいるのを見ると大勢の仲間達と石や瓦や
木の實で遊んだ頃とどちらが良いのか考えさせられます。遊びの道具がなければ子供は
地産に区画をきいて、縄一本あれば縄一本でも楽しく遊ひました。子供は子供なりに
創意工夫した遊びをしていたように思います。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

昔のように一家、親子、孫、などが
かるたやすごろくなどやり、心の繋がりが
深まったことを思うと、テレビゲームなどは、
一人だけが籠ってやることで、一家がバラバラと
なり、嘆かぬいかぎりです。
孫がもう少し大きくなったら、こま回や凧あげ、
坊主めぐり、かるた、などをやりたいと思います。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

①最近 たこ揚がすま子供を見ません。手作りする事もなさそうだし、売っている店も見当りません (コンビニで入手可能との事に驚き)。親子で竹槍、絵つと、手作りした事を思い出さしよけた。か、使年 カイト が流行し、毎年買って遊びました。

②子供達の集まる おやつ、遊び用品の売る 長い間続いた店が、皆無になっている事 残念に思っています。

③子供の頃の遊びを思い出す会話 はずみましたし、沢山の種類の遊びがあった事に懐かしさを感じました。(三世代同居しています) 80代、50代、20代

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

・ 学校教育の中で お正月の遊び = 昔の遊びとして、教師が生徒に教へてあげない時代になる

・ 何のお正月の遊びも、もうと自分 現代の親世代(9人ほど) 体験が浅く育つため 子としたりは伝へていけません。

・ お正月の遊び、自分 せん遊びの知識、時代は下り

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

私は、お正月の遊びといえは、日本の遊びが多いと思います。かるたやこま回しなどは、弟が幼少園からもらってきたので、たまたまやっていたけど、はねつきやお手玉は、その物じたいを持ってないという事で、なかなかできませんでした。

私は、テレビを見ることやDSなどの電子ゲーム UNOなどのカードゲームなど、現代の遊びのほうが、たくさんやっていたような気がします。

そり遊びや雪がっせんは、たまたまこの時季に雪が降ったのでできました。けれども、こういうことをするには、広い土やゆるやかな坂などが必要です。そり遊びや雪がっせんは、いとこのいなかの町でたったのでできたのかもしれませんが。そり遊びはちょうど家の前が、たな田のようになっていて、坂だったので、できたのだと思います。このような土地や遊びを次の世代にも残していきたいです。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

昔は正月はヒマなので 皆で一緒に遊ぶ楽しんでいた思い出があります。大人になって、車が出かけたりすることが増えたため、最近のお正月はあんなに楽しめてお正月遊びの時間が無いです。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

外で遊ぶ子どもの声を聞くことがなく、~~風~~^風上げをひかたまたように思います。

お正月といってもテレビ、ビデオなどを見ただけで、楽しく遊べるようになっていたので、親は外で遊ぶ必要を感じないのだと思います。

テレビ放映しない日を作るのかぎり 子どもの将来が
楽にならなれません

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

子どもの頃のお正月は、両親や祖父や祖母、おじやおばなどに、お正月遊びの道具を作ってもらったり、自分も作るようになって、とても楽しい思い出があります。

この頃は、作って遊ぶことが少なくなっているように感じますが、これからも、子どもと大人が一緒に何かを作るときもできるだけもちたいなと、思っております。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

クリスマスやお誕生日等でゲームを買ってもらう子も多く、お正月にもお店があって、買う子。

この頃、外で遊ぶ機会をみかけたのも

室内でTVゲームやパソコンでゲームをしてるから

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

子育てと振り返り、振り返り、子どもが喜ぶもの = ゲーム機、ゲームソフト
と、う国武のあり、クリスマスや誕生日には、それらのものを買い与えてお祝い。
今、子ども達が、昔の遊びと比べるとはっているのは、お達親の影響もあるのか
と、感じています。

伝統の文化を残すためには、家族や社会で子ども達に伝えていかねれば
ならないと感じています。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。 (かくれんぼ等)

私の子供の頃はテレビもゲームもなく村のまん中にある寺の境内で
(薄野町大所)
みんなが集って小学生の頃毎月次々とあそびに遊んでいて、こぼれ出し
ます。や学校へ入学してと人より遊んでばかりいって、お正月は親に
云われて悲しかったです。

今の子ども等は近所に友達も少なく家でテレビゲームやテレビ
の録音機で遊ぶ位で、外出の時は親で約束し(やらせられたり)
家へ帰るとお正月の遊びは知らずみだいで、結局体を動かさ
うと思えば、野球、サッカー、テニス等のスポーツクラブに入らざるを得
ないです。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

今私の家は老夫婦2人の暮れですが正月には2の子供6人の子孫
が全部帰ります。もう成人している孫が3人、高校1人、小学生2人です。
毎年正月には全員で家族写真を撮って各家庭に掲額して、朝夕
写真に向けて「元氣か」と声かけをするようにしています。その写真を撮る
ため全員が2泊~5泊しています。その時皆が「百人一首、トランプ」
かるたなどやり、雪のある正月はかまくら、雪だるまを作ったりして
遊びます。特に皆が喜ぶのは家の伝統的なおせち料理とおどろき
です。子や孫も受けついでくれるよう家族と子どもが一生懸命
作ります。そろそろバトンを渡す時期に来ていますので、熱が入ります。
これらのことも遊びに入ればよいと思います。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

1950年代、子供の頃は近所や親せきの子供達が家の庭や家の中に集まって遊んでいました。特に正月は家の中で「いろはかるた」「双六を」していました。大人も子供も年の差関係なく一緒に遊ぶ機会が正月だったように思います。そしてこのような機会をつくる遊びを残していくのが大切に思います。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

今年の正月は、大雪で、雪がとがとついで、足が滑るとは存分の不安、剣舞や、たこや、や、お正月の遊びを思い出す。

最近の遊びは多様になり、家族連れのゲームや旅行に参加する人も増える。

半世紀前の遊びは、とある程度、今年も残っているものは少ないように思う。

残っている遊びを見ても、たこや、たこやを、和食や、洋食に変わってきているし、

昔の遊びの内容は、時代の変化に合わせ、時代の流れという印象がある。昔、お正月に

たこやを知る者としては、いまだに懐かしい気がする。

5. お正月の遊びについて、感じることを自由に書いてください。

百人一首はお正月のおはあちゃんお正月お母さん

兄弟とみんなが賞えりした事があるから、お正月か

一緒にあそんだりするのことができています。

今の時代では、保育園や小学校で、ほろしやけん玉や

お正月の遊びがあるので、これから次の世代が

やってくれると、うれしいです。

2010 年度第 2 回調査

「お正月遊び」調査案内

“お正月には 凧(たこ)あげて こまをまわして 遊びましょう” 東くめ作詞・滝廉太郎作曲の童謡“お正月”の一節です。さらに、2番の歌詞では“お正月には まりついて おいばねついて 遊びましょう”と続きます。

ところが、近頃では、このような風景はほとんど見られなくなってしまったように思いますが、皆さんの身近では、どうでしょうか。

今回のアンケート型調査では、“お正月遊び”に関して、最近の傾向がどのようになり、昔から行われてきた“遊び”との違いを明らかにすると共に、地域差があるかどうかについても明らかにしたいと思います。

また、調査の結果から、失われつつある“遊び”が見つかるならば、どのようにして伝承していくべきか、有益な示唆が得られることを期待します。

ご家族の皆さんが集る機会の多い年末年始を中心に、ご本人のみならず、お子さん、お孫さん、友人あるいは隣人の皆さんの協力を頂き、このアンケート調査にご参加下さい。



調査期間：平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 1 月末日
担 当：高田 正一 フィールドレポーター・スタッフ
アドバイザー：老 文子 琵琶湖博物館学芸員

「お正月遊び」調査票

(該当項目を で囲んでください。本調査票は 1 月末日までに、ご返送下さい。)

1. 調査者 _____ (男・女) _____ 市・町)

年 代： 10 才以下、10 代、20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 才以上

2. 今年のお正月どんな遊びを誰が、どこでしていましたか(複数選択可)。

誰 が	どこで(県内は市名、県外は県名)
A. こま回し	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
B. たこあげ	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
C. まりつき	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
D. すごろく	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
E. 福笑い	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
F. 百人一首	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
G. かるた	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
H. トランプ	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
I. 花札	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
J. ビー玉	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
K. おはじき	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
L. お手玉	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
M. めんこ	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
N. カロム	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
O. ベーゴマ	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
P. スキ・ボード	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
Q. カラオケ	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
R. ボーリング	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
S. 麻雀	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
T. 囲碁・将棋	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
U. テレビ鑑賞	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
V. 電子ゲーム	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
W. 板ゲーム	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
X. 旅行	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
Y. はねつき	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)
Z. その他	(自分子・孫 親戚 隣人) (____市____県、____)

その他の“遊び”の内容を、下記ください。

3. あなた(成人の方)は子どもの頃、どんな遊びをしましたか(複数選択可)。

- A. こま回し B. たこあげ C. まりつき D. すごろく E. 福笑い F. 百人一首
G. かるた H. トランプ I. 花札 J. ビ-玉 K. おはじき L. お手玉
M. めんこ N. カロム O. ベーゴマ P. スキ-ボード Q. カラオケ R. ボ-リング
S. 麻雀 T. 囲碁・将棋 U. テレビ鑑賞 V. 電子ゲーム W. 板ゲーム X. 旅行
Y. はねつき Z. その他()

4. 次の世代に残したい“遊び”ベストスリーをあげてください。

- 1.
- 2.
- 3.

5. お正月の遊びについて、感じることを自由にご書いてください。

* フィールドレポーターに登録されていない方で、調査結果報告をご希望の方は、住所、氏名、郵便番号をご記入ください。後日、報告書を送らせて頂きます。